



《こども版》 としょかんだより No. 331

2012年

# わくわく本だな

## 3月号

富山市立図書館

### 今月のおすすめ



★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

—あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします—



#### 「さんすうサウルス」 (えほん)

ミッシェル・マーケル／作 福音館書店

さんすうサウルスは、けいさんが大すき。手や足のゆびから、はっぱやえさのきょうりゆうまで、なんでも、たし算やかけ算でかずを出します。じしんでじめんがわれて、いもうとがむこうぎしにのこされたときも、とくいなさんすうをつかっていたすけました。

#### 「うさぎのラジオ」 ★ 島村 木綿子／作 国土社

ちなみは、月丸つきまるという名まえのミニうさぎをかっています。ある日、月丸の耳から小さなはこがおちてきました。ちなみが耳にあててみると、うさぎたちがほうそうしているラジオ番組ばんぐみがきこえます。たのしくきいていたら、りんじニュースがとびこんできました。



#### 「のら犬ホットドッグ大かつやく」 ★★

シャーロット・ブレイ／作 徳間書店



シッセは、学校の帰りに、一匹びきののら犬に会うのが楽しみでした。体が長くてホットドッグみたいな犬です。ある日、シッセのあとをついてきてしまい、家で飼うことになりました。庭かだんの花壇をめちゃくちゃにするホットドッグですが、やがて、新聞にのる大かつやくをします。

# あたらしくはいった本

## えほん

### 「あかいぼうしのゆうびん屋さん」

ルース・エインズワース／作 福音館書店



どうぶつたちは、てがみをはいたつするゆうびんやさんがいなくて、こまっていました。そこで、こねこ、りす、こいぬが、ためしにはこんでみます。でも、よごしたりぬらしたりして、うまくできません。さいごに、こまどりがちょうせんすることになりました。

## ものがたい

### 「つむぎがかぞくになった日」 ★ なりゆき わかこ／作 ポプラ社

ひろとは、となりのいえのじいちゃんが大すきで、いつもあそびにいきます。ある日、じいちゃんがこねこをひろって、つむぎと名づけました。つむぎをかわいがるじいちゃんを見て、ひろとはなんだかおもしろくありません。



### 「クリーニングのももやまです」 ★★ 蜂飼 耳／作 菊池 恭子／絵 理論社



クリーニング屋のももやまさんの店には、色々なお客さんがやってきます。今日は、おじぞうさんが、よだれかけを引き取りにきました。でも、赤色がうすくなっていると言うのです。ももやまさんは、あかね色の染料で、よだれかけを赤くすることにしました。

### 「つくろいものやはじめます お江戸あやかし物語」 ★★

水沢 いおり／作 偕成社

江戸の町。古いさいほう箱の中に入っていた道具たちが、着物を作ったりなおしたりする、つくろいもの屋をはじめました。実は、お店の美人のねえさんは、もともとまち針はりでした。元気な男の子は糸切りばさみ、うるさいばあさんはぬい針ぬいだったのです。

むかしの人々のくらしがわかる、不思議で楽しい物語が四つ。



## ものがたり

### 「漫画少年」 ★★★

ベッツィ・バイアーズ／作 さ・え・ら書房



アルフィーは、屋根裏部屋で漫画をかくのが大好きです。ところが、家を出ていた兄がもどってくることになり、母から大切な屋根裏部屋を、兄さんにゆずるように言われました。絶対に部屋をわたしたくないアルフィーは、中にたてこもります。

### 「あの時間に、クスノキの上で」 ★★★ 中尾 三十里／作 文研出版

あおいの両親が別れてしまいました。大好きなお父さんが何も言わずに家を出て行き、あおいはショックを受けます。でも、「強いスーパーキッドになる」と決意し、くわしく話を聞くため、こっそりお父さんの家に行くことにしました。



## ちしきの本

### 「ずかんプランクトン」 日本プランクトン学会／監修 技術評論社



プランクトンは、海や川にすむ、目に見えない小さな生物で、ゾウリムシやミジンコが有名です。顕微鏡で見ると、扇や三日月などのおもしろい形をしています。小さな魚たちの大事なエサですが、たくさん生まれると、水が赤くよごれて魚が死んでしまいます。

### 「ひめちゃんとふたりのおかあさん」 森 由民／作 フレーベル館

愛媛県の動物園で、赤ちゃんゾウのひめちゃんが生まれました。でも、子育てがわからない母ゾウは、ひめちゃんにうまくお乳をやる事ができません。飼育係の椎名さんは、人の手で育てることを決意します。



# こんげつのとくしゅう

## 手紙の本

みなさんは、だれに、どんな手紙を書きますか？おわかれする友だちや、遠くにいる知り合いに、手紙を書いてみましょう。

「 もりのてがみ 」 (えほん) 片山 令子／作 福音館書店

ひろこさんは、森のどうぶつたちにてがみをかき、もみの木にぶら下げました。

「 ポロポロゆうびん 」 ★ 竹下 文子／作 あかね書房

ゆうびんきょくでからだに切手がはられたとむくん。きゅうに体が小さくなり、てがみになって、ポロポロ島へとむかいます。

「 もちろん返事をまっています 」 ★★★

ガリラ・ロンフェデル・アミット／作 岩崎書店

ノアは、車いすで生活するドウディと、文通ぶんつうを始めることにしました。

「 拝啓・手紙です 」 (ちしきの本) 天野 祐吉／作 福音館書店

てがみの歴史れきしや種類しゅるい、書き方しょうかいについてわかりやすく紹介しています。



## シリーズしょうかい



「 落語絵本 」シリーズ (えほん)

川端 誠／作 クレヨンハウス

おもわずわらってしまう、耳で聞いて楽しむ落語を、わかりやすい絵と言葉しょうかいで紹介したシリーズです。14きつ出ています。

「 まんじゅうこわい 」

まつあんのこわいものは、まんじゅう！？それを聞いたみんなは、おどろかすために、さっそくまんじゅうを買いに行きました。

「 じゅげむ 」

生まれた子どもの名前をつけるため、和尚おしょうさんにめでたい言葉をいろいろ教えてもらった父親。全部つけたら長い長い名前に！

「 いちがんこく 」

ある男が「一つ目ひとこめ小僧しょう」をさがしに行きました。「一つ目小娘こむすめ」を見かけて、追いかけていたら、そこは、みんなが一つ目の国でした！

< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273